学校通信
石薬師（いしやくし）
鈴鹿市立石薬師小学校　　令和２年１１月１０日　第１６号
TEL　374-1028　　FAX　374-1057
http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/sp/esishiyakushi
HP でもご覧になれます

北勢地区人権・同和教育研究協議会発表会
（白鳥中学校区人権教育推進研究発表会）

１１月６日（金）に人権教育研究発表会が石薬師小学校で行われました。本来ならば北勢地区の全小学校からの授業参観，研究討議でしたが，今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため，市内公開となりました。研究主題は「自他を認め，つながる子の育成」です。以下は学年で取り組んだ題材とその学習の目標です。

１年　「ひろがれえがお」
- 家庭の仕事をすることで，自分も大切な家族の一員であることを知り，自分のできることを考え，役割をはたそうとする。
- 家庭の仕事を通して自分の生活が家族に支えられて成り立っていることを実感し，家族への感謝の気持ちを持つことができる。
- 発表を通して，友だちとがんばったことを認め合うとともに，仕事をやり遂げた達成感や家族の役に立ったという自己有用感を実感する。

２年　「これまでのわたし　これからのわたし」
- 自分自身の成長を振り返り，できるようになったことや苦手なことなど今の自分について表現することができる。
- 自分や友だちが大切に育てられて大きくなったことを知り，共にかけがえのない大切な存在であることに気づくとともに，自尊感情を高める。
- 周りの人がありのままの自分の存在を受け入れて育ててくれたことを感じ，これまでの生活や成長を支えてくれた人々への感謝の気持ちを持つ。

３年　「実はこれ，ぜーんぶ自分なんです！」
- 自分や友だちにはいろいろな面があることに気づくことができる。
- 友だちの話を共感したり認めたりしながら聞くことができる。
- いろいろな自分を自分らしさとして受け入れようとする態度を身につける。

４年　「自分らしく生きる」
- 私たちの身のまわりには，性別に関わる決めつけや固定的なイメージがあることに気づく。
- 「男だから」「女だから」ということにとらわれず，一人の人間として自分らしく生きようとする意欲や態度をもつ。
- 友達の考え方や一人ひとりの違いを認め，自他を尊重することができる。

５年　「安心できる教室のために」
- いじめに無関係な人はいないことに気づくと共に，いじめを正当化する理由はないことを理解することができる。
- 一人ひとりの存在が認められる集団作りに主体的にかかわろうとする。
- 安心して過ごすための「安心ルール」を考え，その「ルール」を守って行動することができる。

６年　「わたしの人権宣言」
- 「被差別の中を生き抜いた人々」の姿を通して，差別をなくすためにどんな行動をしたかを学ぶ。
- 差別をなくす行動をした人々から学んだことをいかし，身のまわりの差別をなくしていくために自分はどうすればよいかを考えることができる。
- 誰もが安心して暮らせる社会にしていくために，自分たちの人権宣言をつくることができる。

授業の一コマ

分科会での研究協議

生活科や総合的な学習，道徳科，社会科で人権学習に取り組んできました。自分も友だちも一人ひとりが大切な存在であり個性があること，友だちとの関わりを大切に互いにわかり合い，つながり合うこと，それらが実践できるように，今後もあらゆる場面で人権教育を進めていこうと思います。

ボランティアさんを活用して

＜クラブ活動＞

ボランティアさんにお願いするクラブがある関係で今年は９月までクラブをやめていました。ようやく１０月からクラブが始まり，「お茶・お花クラブ」と「短歌クラブ」では，ボランティアさんをお願いして活動しました。

＜学習場面で＞

２年生の算数（九九の学習），３年生の算数（コンパスの学習）等でボランティアさんに支援をしていただいています。

写真は２年生が九九を覚えたかどうかを聞いていただいている場面です。きちんと言えたらシールを貼ってもらえます。ボランティアさんのおかげで列が長くなることがなく，授業時間を有効に使えます。